

ポケットジャーナル



★期待される

心身障害福祉センター

神戸市が、50年から建設していた「心身障害福祉センター」が兵庫区水木通二丁目に完成し、いよいよ7月8日オープニング式が開

かれる。この建築物は地上
7階地下1階の神戸市でも
初めての大規模なもの。

心身障害福祉センター



内容としてはセンターハウスとして相談室、判定室、会議室、研修室、体育室、理学・作業・温浴療法室など、肢体不自由児通園施設「くすのき学園」、難聴幼児通園施設「ひばり学園」、心身障害者を対象とした授産施設などの施設がある。



和やかなレセプション

天津歌舞團一行
中国天津歌舞團の神戸初公演が五月十、十一両日神戸戸国際会館大ホールで行わられたが、それに先立つて五月九日夜、オリエンタル・ホテルにおいて一行の歓迎レセプションが催された。

★你們好（ようこそ！）

リサイタル＝邦舞
西川流舞踊家、西川寿之
助さん（京都在住）のリサ
イタルが来る6月16日午後
1時から神戸国際会館でひ
らかれる。チケット3、0
0円。

午後 福祉訪問講座参加者に本連動ボランティアが一组となりて、北須磨地区を訪問し、簡単なアンケートをもとに、福祉について話をし合う。福祉訪問で体験したこと、小グループに分れて話す。

○参加料 三百円 中高校生自由
○対象は、福祉・障害児問題に関する心をもつすべての人びと
○申込みや詳しいことの問合せは

★意欲的な西川寿之助の

通關施設丸山学園児の交流の八
二回をみる。

隅々まで利用者への配慮
がみられる立派な建物が有効に使用され、多くの人々が障害にめげず社会復帰できるようによ多いにこれから

分としては最善を尽くす」と力強い言葉で語った。

○七月二十四日(日)
○北須磨保育センターと北須磨団地(須磨区友が丘)
○日程は
午前 「障害児問題と地域社会」
守屋定雄先生(北須磨保育センター所長)の講演と北須磨保育

の音頭が続くなかで会は和やかな雰囲気のうちに始められ、舞台では一行による今回の出し物も披露された。今回の公演に際して一行の最年少である蔡勣さん（19才）は「天津・神戸両都市の姉妹都市の関係に報いるためにも今回の公演は成

あなたも参加しませんか
市民参加の啓発に!!

の音頭が続くなかで会は和やかな雰囲気のうちに始められ、舞台では一行による今回の出し物も披露された。今回の公演に際して一行の長年かかる努力で



西川寿之助さん
は神戸の
スター舞
踊家との交流も深く、どちらかというと西川流と神戸流

○申込みや詳しいことの問合せは、左記の運動本部まで。心をもつすべての人びと

は馴染が浅いこともあつて5年前にもリサイタルを開いている。番組も意欲的なもの「三人椀久」では椀久を西川寿之助・松山大夫を西川鶴次郎が踊るほか、「四季」三葉草では西川鶴が翁

精神薄弱問題の啓發運動です。みなさんのご協力のお蔭で、中から心地よい運動になりました。また、年に一度の誕生日を有意義にしようという運動です。

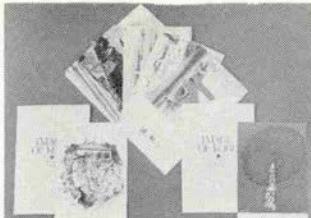
誕生日ありがとう運動本部
神戸市葺合区御幸通八一
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話二五一一八一六一内線三一六

三番叟を寿之助で、「須磨」では若柳寿邦(若柳流宗家)が此兵衛を、松風を寿之助が踊る。

この他、「青海波」花柳芳五郎、芳柳芳恵一子、「まかしよ」を尾上菊見、「たぬき」を花柳芳叟といった地元の名流が勢揃いして花を添える。

★神戸の香りを――

中西勝、貝原六一、石阪春生三画伯が描く神戸風景が「IMAGE OF KOBE」という絵葉書として発売された。第七回神戸まつりに協賛して発売されたもので各5枚一組セットで150円。便りを出してしまっては惜しいようなハガキです。



さすが！ 神戸の絵ハガキ

現在さんちかインフォ――

問い合わせは市青少年課まで
★EVERYDAY LI

F E という
ワンマンショ―

デスマスクがガス管をくわえているのや犬がトイレのお風呂に入ってる絵。トバイのパネルは最寄りのバス停に、家までの路にカラフルなビニールを敷いてたり、とに角盛りたくさん内容の榎忠さん久々の個展が5月1日と8日まで高取山麓の自宅で開かれた。展示により、発売される

ことになった。ユニークなタッチで神戸の異人館を描き続ける広瀬安美さんの原画を純白の陶版に焼き込んだエキゾチック神戸にぴったりの品で、木枠に入れて額として飾つたり、ホットプレートとしても利用できる。旧E・Hハンター邸、トマス邸など人気の高い異人館七種類がある。



チューさんハリキルの巻

何といつても最高なのは忠さん自身のスタイルで、頭、ヒゲを半分だけ見事に剃った姿。4月末の日曜日この姿で三宮を歩いて道行く人それ違う人の反応を納めたビデオも放映。「何でもえやん、日常の身近な空間をちょっと変えてみて発表したんや」とあいかわらずユニークデシタ。

★神戸の街にふさわしい
おみやげが

木村長方形1800円、木製ブレード用950円、お問合せ、お申込みは神戸新聞出版センター販252-00816



神戸のおみやげにいかが？

★NHK朝の連続ドラマに神戸が舞台の「風見鶏」昭和36年から二十作目に至るNHKの朝の連続テレビ小説に近畿本部制作の「風見鶏」が十月三日より半年間放映される。このド

ラマは杉山義法の書き下し

ズバリ神戸みやげとしてうつつけの「陶版額皿」がこのほど神戸新聞出版センターと二ホンアートの共同開発により、発売される

美術ガイド



★兵庫県立近代美術館

20世紀ド・イヴ絵画の巨匠

エルンスト展

南蛮美術館

第26回兵庫県日本画家連盟公募展

大丸神戸店美術画廊

東丘社日本画小品展

片野かほり絵展

二六〇年記念

菖蒲大徳日本画展

第五回紅会日本画展

★そごう神戸店美術画廊

桐野江節雄油絵作展

★三越神戸店アートギャラリー

神戸在住作家

新協美術写真部神戸展

オール関西学院美術展

中国物産展

第5回青銅社展

★ギャラリ―さんちか

兵庫光風美会新人展

仁彩会写真展

★KCCアートギャラリー

神沢知丘書展

KCCギャラリー

アートグループ

るV展

宮崎舟山南画展

丹波陶友会展

甲南大学写真部新人展

吉田稔郎の環境デザイン展

プランと写真資料展

★サンスティアギャラリー

第30回芦屋市民センター

吉田稔郎の環境デザイン展

プランと写真資料展

で激動の大正・昭和を背景に和歌山の太地で生まれ神戸でドイツ人のパン職人と結婚し、外人たちから「わ

れらの母」と慕われたマダム・ハイニッツヒこと松浦さるの愛と夢に満ちた波乱の一生を描いた物語。ヒロインにはオーディションを突破した新井春美さんが決

定。神戸を舞台に国際結婚をし日本で初めてヨーロッパ風のパン作りという話な



期待の新人、新井春美さん



時計花

★人間の活力とは

いま、エネルギーの問題がいろいろな話題を呼んでいる。石油ショックの経済の様相を一変させてしまったのも石油というエネルギー源のもたらしたものである。その、石油ショックから3年を

経ていまも経済不況は深刻そのものである。エネルギー源の開発に躍起になったところで石油に変わったエネルギーは簡単には生れてはこない。エネルギーが動力源なのである。そのさまざまな影響力を忘れてはならない、油断は禁物なのである。そこで、考え方を人間のいろいろな活動におきかえて見よう。

かつて、故井植蔵男氏によく「私のアイデアや活力は自墳作用なんだ」といって笑っていた。

(Y)

この自墳作用、こそ、人間の活動の源泉でありエネルギー源ではないかと思う。

いろいろな理念や慾望をもつても人によってその噴出力が違うようだ。

不思議なことだと思うが

人間の動力源のひとつに健康であることも大切な条件なのだろうがそれだけでもないと思う。人間の活力はどこから生れるのか。文明のエネルギーが石油にたよっているということが判ってきてはいるのだが。

坂井時忠氏。

★劇団神戸の浜田義則さんと太田陽子さんが5月5日西宮市民会館で結婚され、5月21日レストラン「バーグ」24Fで、友人相集い披露パーティが開かれました。おめでとう。

★論破の会の久家恵一さんが6甲

目9番20号六甲小川マンション202号で転居。新住所は瀬戸内町1丁

号78(822)1366です。

ので画面にはエキゾチックな神戸の魅力がふんだんに登場するという神戸っ子には楽しみな番組です。

★軽妙なタッチで描く遊記でほどの第4冊目の著書「誰でものヨーロッパ」を発刊特殊な立場でなく近頃アーヴィングのヨーロッパ旅行に参加した一人としてその旅行記及び感想を綴ったもの。と

転載され洒落ている。

中古書房￥980

★歌集「蒼い星」出版

湊川神社宮司の吉田智朗さんが歌集「蒼い星」を神戸新聞出版センターから出した(二千円)。吉田さん

年以降の作が約三百首収め

られた(5月16日渡欧。約3カ月の予定)。パリからアフリカへというコ

ードス。

★四月二十三日と五月二十二日、

県立近代美術館で、橋本龍雪展が開かれましたが、関雪画伯の生家の所在地と推定される神戸市生田区大倉山公園内に記念碑を建立

五月二十二日(日)午前十一時

四〇分と三時遅雨の中の除幕式。

京都より井上流の井上和子を初め

芸妓、舞妓が京舞を踊り、生間流

の式庖丁を吉岡米太郎と生間正保

が披露、記念碑を建てた会の発起

人は小野竹齋、井上靖、宮崎辰雄

菅正徳さん。

★今はなき古林喜樂元神戸大学大

学長を偲ぶ三千人のピアーティが

5月29日神戸大学学生会館大ホールで開かれました。世話人代表は

和田義則さんと太田

陽子さんと6月結婚されました。

おめでとうございます。

★劇団神戸の浜田義則さんと太田

陽子さんが5月5日西宮市民会館

で結婚され、5月21日レストラン

「バーグ」24Fで、友人相集い披

露パーティが開かれました。おめ

でとう。

★論破の会の久家恵一さんが6甲

目9番20号六甲小川マンション202

号78(822)1366です。

いつでも、さし絵のスケッチも自筆で美術や文学に対する著者の造詣の深さが伺える。カバー表紙の装幀が

東山魁夷画伯の詩画集「コ

ンコルド広場の椅子」より

転載され洒落ている。

中古書房￥980

★大ファイルの指揮者朝比奈隆氏はこの程、西独大功労士章を受賞され、その祝賀パーティーが6月10日(金)午後6時より相楽園会館で開かれます。おめでとうござります。

★また、長男の朝比奈千足氏も、5月上旬より東ベルリンのドイツ国立歌劇場に音楽監督オトマール・スイトナー氏の助手として約1年間の予定で勤めることになり渡独。住所は1000 Berlin 39. Heide Str. 2 West Germany

★中西勝(二紀念)画伯、咲子夫

妻が5月16日渡欧。約3カ月の予

定)。パリからアフリカへというコ

ードス。

★四月二十三日と五月二十二日、

県立近代美術館で、橋本龍雪展が開かれましたが、関雪画伯の生家の所在地と推定される神戸市生田区大倉山公園内に記念碑を建立

五月二十二日(日)午前十一時

四〇分と三時遅雨の中の除幕式。

京都より井上流の井上和子を初め

芸妓、舞妓が京舞を踊り、生間流

の式庖丁を吉岡米太郎と生間正保

が披露、記念碑を建てた会の発起

人は小野竹齋、井上靖、宮崎辰雄

菅正徳さん。

★今はなき古林喜樂元神戸大学大

学長を偲ぶ三千人のピアーティが

5月29日神戸大学学生会館大ホールで開かれました。世話人代表は

和田義則さんと太田

陽子さんと6月結婚されました。

おめでとうございます。

★劇団神戸の浜田義則さんと太田

陽子さんが5月5日西宮市民会館

で結婚され、5月21日レストラン

「バーグ」24Fで、友人相集い披

露パーティが開かれました。おめ

でとう。

★論破の会の久家恵一さんが6甲

目9番20号六甲小川マンション202

号78(822)1366です。

KOBE POST

ようじの仲間がやさつたよ！
水あそびのお友だち



おもちゃの
カメヤ

三宮方面でのお買物は…
きんちか店 ファミリー タウン ☎ 391-4045
三宮店 センタープラザ ☎ 331-4969
元町方面でのお買物は…
元町店 元町通3丁目山側 ☎ 331-0090
バシブウ店 元町通1丁目不二家前 ☎ 391-0768
神戸駅前方面でのお買物は…
サンこうば店 神戸駅前地下街 ☎ 351-6002



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL (341) 7290



ジューンブライドニ
サチオオカレ！

*ウェディングケーキご婚礼お引出菓子予約承ります

北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市北区熊内町一8(市立美術館東隣) TEL 221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸アーモント・元町店

おすし
てんぶら



榮
誦



本店 大丸前・三宮神社東
TEL (33) 5677
(毎週水曜日休み)
さんちか味ののれん街
(第3水曜日休み)
TEL (33) 5233

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.00

トの背見下 小倉 弘子

え・題字／南和恵



「ほんとうは迷ったんよ。私は方向オンチやけど、人に聞くのはカッコ悪いし、三十分以上も駅の前をうろうろしてたの」

しばらく黙りこんでいた智世が、急に舌つたらずの物言いで、上目使いに加奈子を見上げた。その甘ったれた鼻声に、加奈子は自分の質問の意図をはぐらかされた気がした。

だが、ただ遊びにくるだけにしては、一時間半以上の道のりは遠過ぎる。来訪に費す間中、もつとその当人の意志を持続させる、何かの根拠が胸の中に抱きこまれているはずだ、と加奈子は思った。が、その本人は、無邪気なしぐさで、ショートケーキをフォークで崩していた。加奈子は無言でこの少女の不思議な懿達さを見つめた。それでも身なりは、他人の家を訪問するに相応しく見える、紺地に白の水玉模様のワンピースで装われている。そのウール地の肩先から、日向くささが匂っていた。自分なら、いくら陽ざしの抜がつたアスファルト道を歩いて來ても、こういう懐しい匂いは、転に染みつかない気がする、と加奈子は息を深めた。

加奈子のセーターは、母のもんべや、洗い晒した古肌着からたち登る蒸気が、広い空間に吸われて消えるのを、加奈子はぼんやりと見つめていた。全身が汗ばむような、秋には珍しい照りの強い午後だった。

もう氣の遠くなるような昔、加奈子が疎開先の岡山県下で終戦を迎えた年だった。その秋、記録的な大雨に西日本が見舞われた。

借りていた家の裏を流れる川が氾濫して、僅かな家具や衣類ではあつたけれど水浸しになつた。父は復員していず、加奈子は水の退いた堤防にむしろを拡げ、母と二人で畳や衣類や、鍋釜の勝手道具まで日光に当てたものだった。

その種々雑多な干し物の横で、見張りかたがた加奈子は水遊びをしていた。何日も降り続いた雨の後、青磁色に澄みきつた空から降り注ぐ陽ざしが、もう元に返つて和んでいる水面をきらめかせていた。その川の表情の変りようが不思議なほどであった。赤茶色に渦巻いて、歓のような鳴り声で荒れ狂つて流れたとは、とても同じ川に見えなかつた。

急に話し声がとぎれて高い笑い声に変わったのを耳にし、加奈子は何気なく堤防の下を覗きこんだ。すると、

自分たちの露骨な高笑いに気づいた近所の二人の主婦が、あたりを見廻す物腰で加奈子を見上げ、ふっと肩をすくめると相手の胸を交替でこづき合つた。

「子供が聞いてたがな」

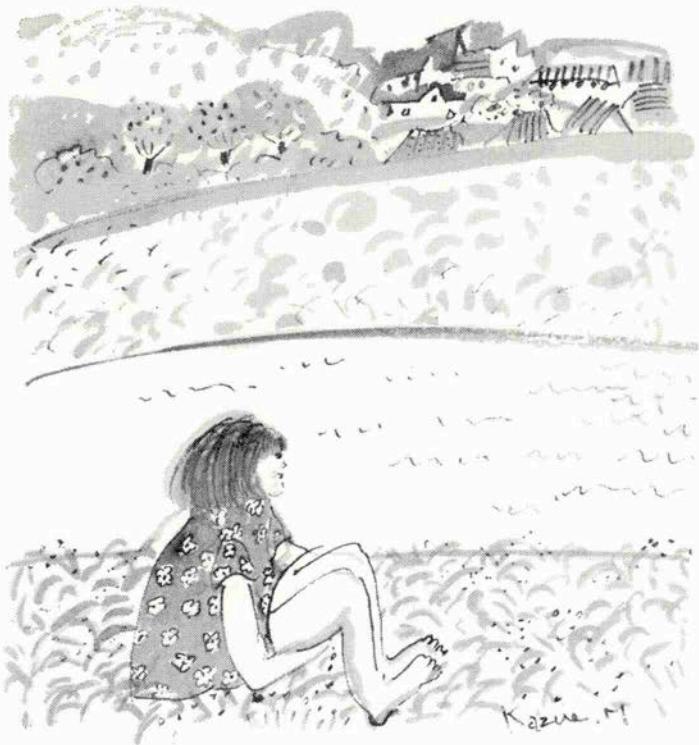
「別になんともないが。水害見舞の話しどうだけじや。街かたのべっぴんさんは、特別親切な見舞がある、ちゅうこつちや」

それが誰の噂か、加奈子にはすぐわかつた。母のことろへよくたずねてくる按摩の男のことであつた。加奈子も半盲のその人の手を引いて、川向こうの自宅まで送つていつたことがあつた。子供心にもそれが嫌であつた。馴染みきれない田舎の学校の、級友の眼に触れたことも

あつたし、それよりも何よりも、自意識の芽生え始めた自分自身が、まだ青春期の名残りを留めている男の手を引く行為 자체、妙に汚らしく思われて嫌であつた。が、母はこの村で大阪弁を話せる相手は、その男以外になかった。二人の話しぶりは明かるくて加奈子の心も和んだ。大阪の懐しさが胸に沁みこんだ。

加奈子は今思つても、母が父のいない間に、軽口のいい合える男を家に寄せつけたことが、多少の不謹慎さはあると感じても、心根としては理解できる気がする。

山べりと川とに挟まれた細長い村落で、疎開者に冷たい周囲の人眼に、いつも射すくめられていた母が、たまたま知りあつた同郷の人間を、話相手にせずにいられなかつた気持ちはわかる。でも、と加奈子はその後も年を重ねるにつれ、ふとした疑惑が頭の隅を掠めることは



あつた。

その足で、加奈子はすぐ堤防の石段を駆け降り、裏口から家に入った。

清さんのいつもの届託のないよく響く声が耳に届き、母の合槌の言葉がそれを追つた。

「おれなんか生まれたとこやさかい、一生ここにいるかもわからへんけど、奥さんは旦那はんが帰つて来はつたら、あしたにでも大阪へ戻れる。よろしおますがな」

清さんはそういってから、物音に気づいたように視線を宙に漂わした。丸い卓袱台に向かい合つて、二人は話しこんでいた最中らしかつた。加奈子は何とはなしに安心した。この空気には、外の陽ざしの匂いがあると思つた。暖かく軽やかで、透き通るように明かるくて、心が弛むふくらんだ匂いだ、と鼻孔を開いた。すると清さんが、

「娘ちゃん、外はええお天気だっしゃる。あんた入つて来はつたら、お日さん背負うてはるみたいに、いつべんにそこらがぬくくなつたがな」

と加奈子の顔の位置より、ずれたあたりに眼を向けながら、白い歯並みを見せて笑つた。もう目鼻立ちも覚束ないほど、記憶の遠くに薄れてしまつた清さんの顔の割に、その澄んでよく響いた聲音だけは、耳底に残つてゐる。

お日さん背負つてきはつたみたい。今の智世の肩先にも、その匂いと温くもりが染みでいる。
清さんの言葉に軽い笑い声をたてた母も、父の死んだ五年後に子宮癌で亡くなつた。

父が復員した明くる年、加奈子は女学校の受験のため大阪に帰つたが、母が帰阪するまで母方の叔母の家に寄宿した。父は加奈子に続いて大阪に戻り、職探しに駆けずり廻つていたが、古い友人に誘われて美容材料商の事業に参加した。母が念願の大坂へ帰つて来たのは、加奈子が高等女学校の二年生から、新制中学二年生と呼び名が変わつた夏で、その間父と母とは別居していたわけだ

から、今になつて加奈子が、あの頃母はひよつとしたら、という疑いが湧いてくるのも、不思議だといえなくもなかつた。

だがそんな時、加奈子は自分自身の鬱陶しい考えをぐ跳ねつけた。自分が母の年齢と同じ時期にさしかかってきて、女の生理というものをつぶさに知つてしまつた今、もう死んでしまつた母のことをあれやこれやと想像するのは、ひいては夫と離れている自分の内側の、淫靡な翳りを自覺していることになる。それは奇妙に強い自分の屈辱感だ。

加奈子は我に戻つた。

今日この少女が、思いつきにせよたずねて來てくれたことの、自分に与える何らかの効果を考えたら、乾いた空気が流れこむ風通しのようなものではないだろうか。ちょうどこの陽ざしの懐しい匂いのように、綿の纖維をふくらませる、紫外線の明澄さだ。数時間後、加奈子はもうすっかりうち溶けたように、智世に台所を手伝わせていた。それとなく見ていると、智世の手先は仲々に器用であつた。茹でたキャベツの葉を破らぬよう、ミンチ肉を巻きこんでいるその手つきが、あまりに堂に入つてゐるので加奈子は感心した。

「あんた、お料理が好き?」

「うん、まあ取り得はこれだけかな」

そのいいかたが、夫のよくいう口癖にそつくりだつたので、思わず加奈子は笑わされた。

「私もそういうわれるわ。料理だけが取り得で、それを食べるものが樂しみに船から帰つてくるんだつて」

「男つていいましいな」

「結婚して、何十年もたつとそんなもんよ。女らしさ、可愛しさ、その魅力より、おいしいもの食べさせてくれる女房の方が、現実に満足できるみたいに思つて。だから智ちゃんなんか、見かけは男の子のようだけれど、案外いい奥さんになるかもわからへんわね」

加奈子の言葉をどう受け取つたのか、智世の肩が動か

なくなつた。が、加奈子は気づかずに鍋の中を覗きこみながら話を続けていた。

た。夕暮れの渋んだ夕日の中で、自然口調が浮かれていた。

「結婚する」と女の子で変わるもんやよ。生活に馴らされるという方が、当たっているかしら。智ちゃんだつて、今のあんたが想像しているより、女らしくて、そして良妻タイプになるかも知れない」

めながら、無造作にさつきの言葉をくり返した。

加奈子は急に相手に口をつくまれた気がした。
いた軽い言葉の響きではなかつた。

加奈子はまた沈黙に戻つた。先刻の、二人してかもしれないした、上機嫌の雰囲気は何だったのだろう、と思つた。



加奈子は、とうとう智世に祥二が帰ることをいいそびれて昼食の用意に立ちあがり、智世は智世で、珍しそうに飾り棚を見きこみながら、

「おばさんの旦那さんって、趣味の多い人やね」

奈子が台所に入ると、奥の間から音量が溢れてきた。買ったつてきたものの、あまり性に合わないのか、めったに祥二がかけたことのない、カンツォーネ風のボビュラーソングだった。心が少しとがりかけたのを、加奈子は抑えた。一人でいる時に、室内に音楽が流れるなどということは、ほんとうに毎日だった。折角気持ちよく昂ぶりかけた想いをしこらせたくなかつた。情感のこもつた歌いぶりに、無理に聴覚を馴染ませようとした時、ぶつつりと旋律はとまつた。やはり不躾けに気づいたのだろうか、と加奈子は思ったが、わざわざ引き返して奥まで覗きに行く気は起こらなかつた。そこへ智世が所在なさうな顔つきで現われた。加奈子は思いなしかれに思えた。まだ子供だと思つた。住みこみで親もとか離れて浮かぬ目つきをしている智世が哀れに思ひでも、他人の家庭をかいだろう、と気がついたからだつ

帰るわ

と案の定智世はいいだした。
「いいやないの。お昼ごはんを食
べてからでも。ね？」

と加奈子は相手をひきとめた。

分に調子を合わすには智世は若すぎる。したいようになればよかつたのだ。

加奈子がすすめた言葉に対し、一瞬智世は考えこむ目つきになった。それからなぜか、年相応の弱々しい感じを見せて、後手に組んでいた腕をほどくと遠い視線になり、人差し指の爪を噛んでしばらく黙りこんでいた。

「手伝ってくれるでしょう？」

加奈子は軽く言葉をかけ、自分のエプロンまで渡してやったのだった。若い娘の甘ったれた照れ笑いを加奈子はやわらかく受けとめ、結局は相手に對しての思いやりを通り過ぎて、自分で自分のやさしさに、うつとりと包みこまれていたのか、と思つた。

加奈子は改めて智世の背姿に見入つた。それと同時に、こんな年頃の娘がいてもいい、と思う自分の感情に酔つて、頬に笑いを絶やさなかつた先刻からの自分を、頭の中でふり返つていた。が、当の相手は、不機嫌そうな背のこわばりを見せて、静脈の青く透けたストッキングのふくらはぎに、フレースカートの裾を波うたせながら、苛らだちを抑えている風であった。食事の用意を手伝うのが、そんなに気に入らなかつたのか。もう半分はうんざりした気持ちになり、加奈子は手荒くガスのコックをとめた。

鍋の中の茹で汁をこぼしていると、背後で智世の手順の終つたのが気配でわかつた。思い過ごしかもしれないが、台所を脱けだす頃合を見測つてゐる目つきが、自分の背中にまつわっている気がした。少し荒だつた息が智世の口から洩れている。そんなに帰りたければ、こつちから口実をいい渡してやろう。そう思つて、くるりと転の向きを変えたとたん眼を潤ませた智世の口から呻き声がほとばしつた。眼を瞠いた加奈子の視野に、海老のように丸まつた智世の上体が走りこんで来た。その両掌から溢れた汚物が粘つて絲をひいている。自分のうろたえた声が、他人の声のように聞こえた。いきなり悪い映画の一シーンを見せつけられたように、加奈子は流しの

縁に腕をかけ、上半身を揺るがせてゐる智世を、まるで痴呆者のような目つきで見ていた。智世の胸のむかつきがおさまるまで、加奈子はぼんやりと立つていた。

嘔吐の匂いと、上げたばかりのスペゲッティの蒸気が、生温かく鼻先にまといつて加奈子は戻つた。どろりと濁つて輪郭のない白い吐瀉物が、ステンレス板に盛り上がりつてゐる。鳥肌がたつのを覚えて加奈子は息をとめた。曖昧に顔を上げた智世が、それだけは早い動作ですぐ蛇口をひねつた。

この子は妊娠している！

思わず水滴のほとばしりを避けて後ずさつた加奈子の胸に、その考えがつき上ってきた。身ぶるいがいきなり背伸びをして走つて、加奈子はテーブルに両腕をついていた。

智世は、そんな加奈子に見つめられるまま、まだおびただしい水を流しつづけていた。閉めきつた台所の四角い空間に、ステンレスを叩きつける水音ばかりが響きわたつてゐる。片脚をゆるく引き、腰をひねつて排水孔を眺め入つてゐる後姿が、年に似つかわしくないふてぶてしさを見せてゐる気がした。

加奈子は妙な感慨に襲われはじめていた。

小麦色のストッキングに包まれた頬りなげな細い脚、あんな子供じみた脚が、朱色の熱い肉の子房を支えているのか。年端もいかない小娘が、どう嫌悪から離れた、変な感嘆の情に加奈子は自分で自分をおかしく思つた。

もとの部屋に智世を呼び入れて、さて何を話しかけものかと、加奈子は相手の顔を見つめ入つた。帰るなら潮時だと思ったのに、加奈子の後に素直について来て、窓の青いカーテンを透かす光線に眼を逸らしながら、黙つて卓袱台の前に坐りこんでいた。

軽い放心を現わしているような、白く乾いた唇を加奈子は見つめながら、この子はこれからどうするのだろう、とはじめて現実的な心配が湧いてくるのをおぼえた。

それと同時に、この娘は普段はどんな子なのだろうか、と知らない日常の側へ鋭く想いが向いていた。（続く）

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎ 391-5288

147

An advertisement for "Fashion Cleaners". The top half features a stylized illustration of a rooster perched on a tall, thin pole with decorative scrollwork at the base. The background is a soft-focus outdoor scene. The right side contains vertical Japanese text. The bottom half is a solid black bar containing the brand logo, contact information, and store locations.

夏の光にてあさやかな色 リフレッシュクリーニング

Fashion Cleaners あなたのファッショントリミットをFRESH UP!
ニシシマ

神戸市灘区北田町1番地(078-811244)

山手店 三宮店 熊内店 宝塚店

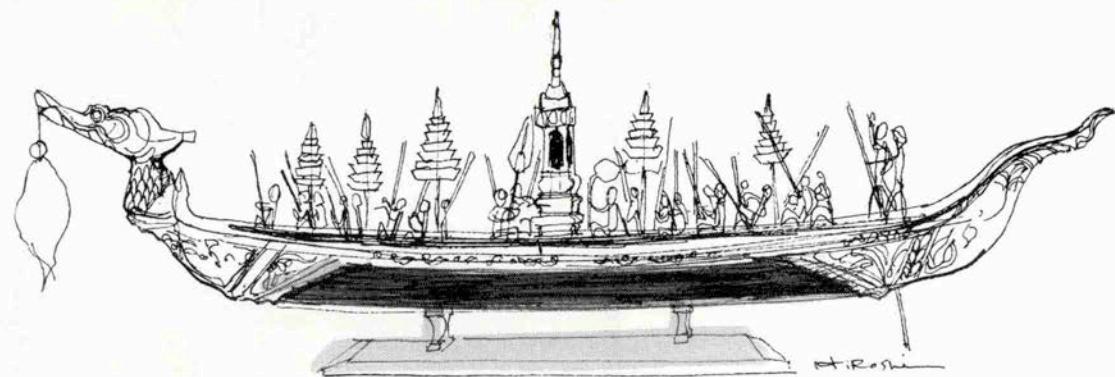
連載小説

〈1〉

シール・ブラウンの神々

田靡 新

絵・松本 宏



(I)

北インド仏跡めぐりの十五人の

パーティのうち口髭を生やした男
は、私ひとりだった。八日間の旅
行中、不精髭をいっさい剃らない
広告マンが、ひとりいることはい
たが。

一行のうち八人が僧侶である。
二日おきにていねいに剃刀をあて
る。クリクリ頭の剃りあとに、イ
ンドの太陽が、ようしやなく照り
つける。汗は、たちまちのうちに
蒼い水の幕をはりつめた。

この剃髪には、エピソードがあ
つて、長髪だった三人の僧侶たち
も、毎晩どこかで髪を剃り落とし
た。その上に、旅の最終日の夜に
は、旅行社の添乗員までが、バン
コックのホテルで得度の儀式をお
こなった。八日間の仏跡めぐりに
感じるところがあつたにせよ、ク
リストチャーチ系の大学を卒業してい
る彼が、丸坊主になった。長い髪
におしゃれのバーマをかけた添乗
員が、髪を剃り落とすとその童顔
が、どの僧侶よりも、もっとも修
行僧にふさわしく見えた。そして
黒いロイド眼鏡が、丸坊主の頭に、
輪をかけるように似合つた。

私は添乗員とその夜、ホテルで
飲みあかすことにしていた。私
は、彼を部屋に呼び、ネバールで

買ったジンをテーブルに出した。明日の夜は、日本へ帰れる。

その安心感が、一行をよりほがらかな雰囲気につんでいた。インドのみやげものをトランクに詰めかえ、旅のメモをつづりながら、笑い声がたえない。そして、最後の夜を惜しむかのように、何人かが連れだって街へ出かけなかつた二、三の僧侶たちも私の部屋へやつてきた。手にウイスキーをさげ、まだ残していたらしいイカの煙製に焼きのり、梅干まで用意してくる。

添乗員の野中は、得度の儀式のあと、汗をながしてきたのか、さっぱりした顔を私の前に現わした。パジャマ姿である。真夜中に両親の寝床へもぐりこんできたおしゃまな眼差しが、彼にはあつた。

乾杯。グラスがあう蒼い頭が離れる。

「野中くんの得度した真意はなんだ」と私。

「いわゞもがなかな」と僧侶のたすけ舟。

「酔つてからにしてほしいな」

野中は笑いながら、躰をかわしていく。クリクリ頭の生ぐささが、一瞬、私の心を熱く刺戟する。もろ肌に風がそよいでいる。ふるえるような初ういしさが、恥ずかしげにゆらめく。ルームライトにひかる富士額、まるみのある後頭部、項ぎわのぼんのくぼ。その窪みすぎた蒼い影に、まだ生毛が残つていて、彼の幼い面影をいつそうきわだたせている。頃からながれる骨ばつた背中の線に、丸裸にされた処女のにおいがあつた。

僧侶たちは、ソファに坐つたり、ベッドに横たわつて、グラスを持つた。私は酔つぱらわない前に、パッグからスケッチブックを取りだす。インドの旅で描いたあわただいラフ・スケッチのつづきに、僧侶たちを描きたかった。とくに野中のクリクリ坊主を。記念すべき得度した日の彼を何枚も描きたい。

「俺は、モデルじゃないよ」

野中は、私の執拗な眼差しに抵抗するかのように、眼鏡の奥で睨みかえてくるが、私はかまわなかつた。野

中の頭部を三点、矢つきばやに描いた。

彼は、ときどき私にふりかえり睨みつけては、グラスを空ける。細い指で両眼を押え、鼻をつまんでは、睡をうるませる。眼をしばたかせ、鼻をひくひくさせ、さかんに喋ることで、私の眼差しを払いのけている。まれに、額にたれ髪をなでげるよう指が頭にのびる。髪のないのに気づく指が、クリクリ頭をむなしくはじく。首を左右にふつても、耳から肩にながれる髪はない。彼のそんな仕種が、みていもあきない。彼は、頭上を掠める風におびえている。それは女の尻が、ふと冷たい空気にふるえるのに似ている。私は、にやにやしながらも6Bの鉛筆をはなさなかつた。

私はスケッチの四点目で集中する力を失つていた。眼に蒼い幕がかかり、じっと見つめようとすれば、坊主頭が二重にゆれうごくのだ。私はスケッチブックを閉じ、グラスに手を伸ばす。

日本へのみやげ用のジンが空になつた。ラム酒も半分になつた。私はグラスを持ったまま両眼をおさえ、そのまま口髭をなでている。酔つて赤くなつた顔に、口髭は保護色に変色しているだろう。

そのうち、私は袈裟姿の野中を描いてみたくなる。私の気ままな希望に僧侶の一人が、袈裟を持ってくる。「フリチンのまま、直接着るなんだ」

「胴巻きの上からだと、姿勢が決るんだがな」

野中は、いわれるままにパジャマを脱ぎ捨てる。パンツの形だけが白い。厚みのある黄色の袈裟を肩から背に巻きつけてゆく。私は眼を細め、思わず鉛筆を握りしめ画用紙に向う。やがて、その着付けがおわると若い修行僧は、両手を胸の前にあわせたり、印を結んで恥ずかしげに笑つた。僧侶たちは別れの挨拶をして部屋を引きあげていった。

彼をたたせ、部屋を歩かせ、ベッドに横たわせる。野中のボーズをなぞりながら私は楽しんでゆく。インドでは、老若を問はず男たちの星寝をよく見かけた。公園の

柵の上で、大樹の下で暗褐色の寝姿は、そのままものがたたずまいにとけこんでいた。彼らは大地の神に寄りそい、太陽と共に息していた。

野中の貌に、ふと若いガンジーの貌が重なる。立肘で坊主頭をかしげ横たわる涅槃図には、ゴヤの『裸のマハ』

が寄りそつてきて、私をとまどらせた。

私は気まで、しかも上機嫌だった。野中には、いろんなボーッズを注文する。真新しい袈裟のひだが、肩から胸へ脛へとながれては、よどんだ。私は灯の位置をかえてみる。黄色だと思っていた袈裟が、濃いオレンジ色にもえあがる。野中の貌にも、そのオレンジ色がまぶしく映え、私はある陶酔に満足していた。

修行僧は眼を閉じたまま冥想にふけっている。起伏する胸が、静かに息づいている。私の手早く描く鉛筆のすれる音だけが、部屋にくぐもっていた。私はときどき見ほれるように手を留守にしては鉛筆を歯でかんでいた。

「もう、いいんですか」

私は彼の声にはつとして、また新しいページを開いた。

「いや、ありがたいよ。無理なことを受け入れてくれて。もうしばらく、そのままの姿勢でいてもらおうかな」

「船田さん」

野中は私を呼んだ。それは、目の前にいる彼の声とは思えぬほど遠くで聞えた。空聞きだったのかと、私はそのまま画用紙に集中していた。ふたたび野中が私を呼ぶ。

「これから喋ること、内証にしておいてほしいんですよ」
彼は、ふいに躰を起した。

「いや、やっぱり喋らない方がいいな」と、またベッドに横たわる。彼が、私に何かを語りたがっている。そのことが、今夜彼を得度に踏みきらせたことに関係しているのではなかったのか。彼の人生で、生まれかわらねばならぬ何かがあったのだ。私は、彼の心の内をのぞきこむように躰を乗りだした。

「もう、いいんですか」

私は気まで、しかも上機嫌だった。野中には、いろんなボーッズを注文する。真新しい袈裟のひだが、肩から胸へ脛へとながれては、よどんだ。私は灯の位置をかえてみる。黄色だと思っていた袈裟が、濃いオレンジ色にもえあがる。野中の貌にも、そのオレンジ色がまぶしく映え、私はある陶酔に満足していた。

修行僧は眼を閉じたまま冥想にふけっている。起伏する胸が、静かに息づいている。私の手早く描く鉛筆のすれる音だけが、部屋にくぐもっていた。私はときどき見ほれるように手を留守にしては鉛筆を歯でかんでいた。

「もう、いいんですか」

私は彼の声にはつとして、また新しいページを開いた。

「いや、ありがたいよ。無理なことを受け入れてくれて。もうしばらく、そのままの姿勢でいてもらおうかな」

「船田さん」

野中は私を呼んだ。それは、目の前にいる彼の声とは思えぬほど遠くで聞えた。空聞きだったのかと、私はそのまま画用紙に集中していた。ふたたび野中が私を呼ぶ。

「これから喋ること、内証にしておいてほしいんですよ」
彼は、ふいに躰を起した。

「いや、やっぱり喋らない方がいいな」と、またベッドに横たわる。彼が、私に何かを語りたがっている。そのことが、今夜彼を得度に踏みきらせたことに関係しているのではなかったのか。彼の人生で、生まれかわらねばならぬ何かがあったのだ。私は、彼の心の内をのぞきこむように躰を乗りだした。

突然、ドアがノックされる。返事の前に、一陣の風が吹きあれてくる。街へくりだしていった僧侶やカメラマン、それに役所勤めの課長らが帰ってきたのだ。四人の話は猥雑で、バカ騒ぎのまつりのあと寂しさとともになっている。

一時間余りの夜のアラカルトは、すべてホテルのボイの献立にたよっていた。まず、ボイがホテルの廊下をしのび足で歩いてくるところからこの幕が開くのだ。

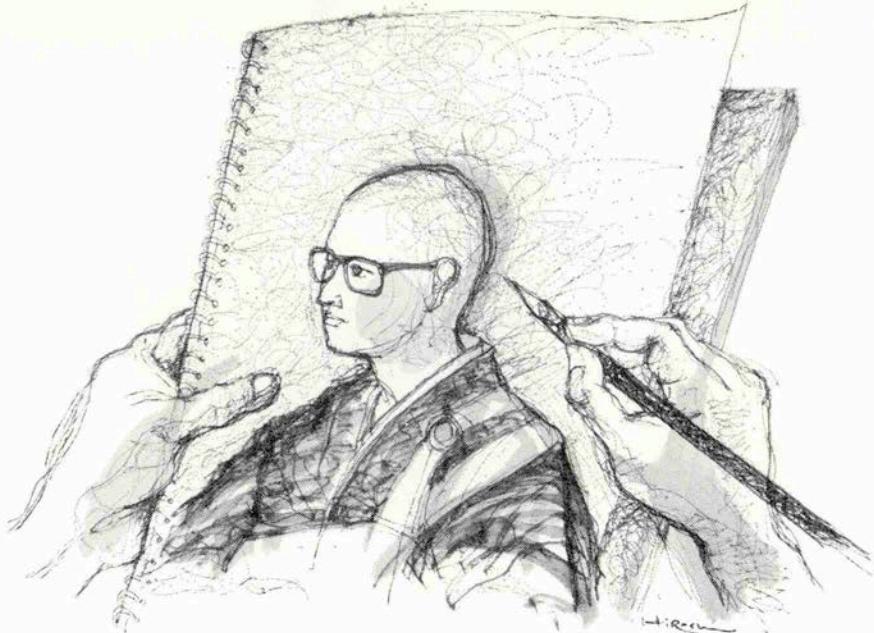
あらかじめ課長と話合いがついたらしく、ルームナンバーをたどってやってきた。鼻がまるく、二重瞼の大きな眼をきょろきょろさせては、しょっちゅうにここにしている。このボイの小麦色なら日本人でもいそうだ。穢梅文のことばを復唱してゆく得度の儀式がながびいたため、カメラマンの手がぬけられなかつた。メンバーが揃わないことを、課長がひとりでいらだつている。「奴の都合もあるだろうしさ、十二時までに入りたいんだよ」

「十二時を過ぎると、むしろ安くなるんじゃないのか」「バカ、十一時に四人を、約束しているんだ」得度のあと祝杯もそこそこに、カメラマンがエレベーターに駆けつけたときは、十一時を四十分も過ぎていた。

ボイの後にくつついた男たちは、足早にホテルの裏口からガレッジに出る。そこには、白タクが用意され、開かれたドアへ四人が乗りこむ。行き先は、戦国時代の武士になぞつて「壇の浦合戦場」といつておこう。クルマは、ビル街の表通りをひたすら駆けてゆく。やがて橋を渡る。南か北か、方向は定まらぬが、ともかく駆けつける。

行けども行けども松林も、浜辺もない。突然、白いコンクリートの城壁にも似たアパートメントに突きこむ。「いよいよ到着か」「よっこらしよ」

潜戸をくぐるように大地におりたつ。乗るとき気づか



なかつたのに、旧型トヨペントンだ。コの字型の建物を仰ぐ。廊下に灯がちらほら。ついでに見あげた、夜空に星はない。

病院のようない廊下をつたつて二階へ案内される。待ちかまえていたおやじがでてくる。台湾系の顔だ。ボテ腹だ。ビジネスが開始されれる。指で値段が示される。侍たちは値切つてみる。イヤ、ダメダメ。それならヤメるよ。ホントカ。押したり、引いたり、そのうちに話は決まる。品物が押しこまれてくる。その品物が、やがて動きだす。そして笑う。病院なら、さしつめ看護婦見習い。チエンマイからも売ってきた女たちだ。

彼女たちは互に笑い、ガムをかんでいる唇をやすめない。瞳の大きい娘、唇のむくれた娘、おとなしそうな顔たち……やがて侍たちが、つきつぎと相手を選ぶ。運命論者や反戦論者の弁を借りるまでもなく、国境を越え、過去の戦争を知らない若者たちの出会いが、はじまるのだ。あくまでも献立従い、アラカルトの食事をするのに似ていた。

「俺の相手は、十八歳とかいって
いたっけ」

「ワシは、マル秘の裏話を訊かされたよ。女たちの分け前は、一ド

ルあるかなしかつてよ。後はホテルのボーキー、タクシーの運ちゃん、パン助のおやじらで山分けしちまうつてよ」

「日本人の客からは、ほったくつてさ。同じタイ人なら半値以下でやらせるつてよ」

「奴さんらも、病気には気をもんでいるらしいよ。日本人に噂がひろまつちまうと客が寄りつかなくてよ、店があがつたりになるから」

「スキンを使ったのかい」

「二重にしたよ」

「ワシは、浴槽で並んで洗ったよ」

さすがに課長も僧侶も「映倫」を気にしてか、中身はほかして語らない。

梅雨期のバンコックは、街の通りでも低いところは、洪水のよう水びたしになつていて、タクシーは、平気でそのなかを走りまわる。水かさがあつて立往生したクルマを膝までズボンをあげた青年たちが、後押ししている。目抜き通りでも食堂や雑貨屋の土間に、なみなみと水が入っていた。しかし、真夜中も過ぎると店は閉まり、クルマの数も少くなつた。この街の朝は早い。僧侶の托鉢から夜があけるのだ。

合戦後の帰り道の話がとぎれたところで、野中がまじめな顔を私に向けてきた。

「船田さんは、どうして同行しなかつたんですか」

彼は、いつの間にか袈裟をバジヤマに着がえていた。「カジュラオのミトウナたちと交わつたから、生身の仏さんたちとは、ダメなんですよ」

「いや、皮肉も皮肉。まいつた、まいつた」

野中は悲鳴に似た声をはりあげた。私が、この旅行スケジュールにないカジュラオへのオプショナルツアーを申し出たのだが、彼は日程が組めないからと断わつてた。私が、まだそのことにこだわつていて応戦の構えである。

「奥さんが、こわいんでしょうよ」

「いや、七日間は、女房の顔も想いうかばなかつたね」私は強がりをいいながら、課長の冷かしも退ぞけいた。課長はシャワーを浴び、肌着類をバックに詰めこむ

と新しい下着をつけた。背広を持ってきたことを愚痴ほくくりかえしていた課長が、今夜になつて役立つたのだ。

「女郎買いに背広を着ていつたんだもんね」四人は笑つた。酒が空になつた。仕方なく彼らは引きあげる。

私は、なんとなく落着けない。まだ飲みたらないのだ。野中も酔つてないという。

「じや、話のつづきも喋つてもらえないね」

野中は笑つて、空のグラスをふつた。ウイスキーは、まだどこかに残つていそうだった。ルームナンバーをた

より、ダイヤルをしてみる。すでに地下のバーも閉まつていた。その理由をつけ、他の僧侶たちを擧げるのだ。

川辺夫妻がウイスキーをさげてやつてきた。悪運強し、まだ酒にありついたと、またもやグラスがふれあう。十五人のパーティで唯一の夫妻連れである。さきほど街から帰ってきたという川辺夫人は、しぐくにこしていった。インドで買ったサリーの話ができる。

「チンドン屋みたいだったでしよう」

「いや、似合つてましたよ。胸もお尻もさすがのインド人もびっくりするほどね」

カトマンズの夕食以後、川辺夫人のサリー姿は見えない。私が最後の夜だから、サリーの注文をするが引受けでもらえそうにない。また、スケッチですかと、野中は眼をこすりながら顔をあげた。

「この旅行で、一番幸せだったのは川辺夫妻でしようね。新婚旅行を兼ねたんですから。その反対に一番の悪運は俺だつたな」

野中はいい終らぬうちに、握りしめたグラスを着い富士額に押しつけていた。

(シール・ブラウンはあざらしの毛皮色)

アサヒ 本生



「アサヒ本生」の特徴

- 「アサヒ本生」の中味はたる生ビールと同じ生ビールですから飲みやすく、お客様に喜ばれ、売り上げもアップします。
- しかも、たる生ビールと違い、手軽に扱え、面倒な設備や売れ残りの心配もありません。
- 「アサヒ本生」には、大びん(633ml)と、中びん(500ml)の2種類が揃っていますから、お客様の適量に応じることができます。

fresh!

フレッシュな製品をつくりお届けするのが私達の役目です



取扱品目

牛 乳 ソフトミックス
生 ク リ ー ム コーヒー用クリーム
ケ キ 用 ク リ ー ム 各種アイスクリーム

株式会社

六甲牧場

神戸市灘区篠原南町6丁目1-25 ☎神戸078(801)6000(代表)

神戸っ子と
出会いう時



★大阪のホテル

ホテルブラザーフロビー・キオスク

後編集

月刊「神戸
っ子」は思
いがけない
ところでお
求めになります。

神戸国際会館

TEL

8

121

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

ファッショナブル ドライバーよ！

日高 里枝さん（親和女子大学）

今春から晴れて花の女子大生。学生時代を有意義に送るにはライセンスは必需品よね。私の家はこの自動車学院のすぐ近くで、兄もここの卒業生なの。わりとスムーズに私もライセンスを獲得できたわ。初心者マークを貼った真赤のフォルクスワーゲンが私の愛車よ。まだ新米だからあまり遠くへは走れないけれど、そのうち抜群のテクニックのドライバーになるんだから



■スタッフ紹介/大林 静雄さん（教務課長補佐）
サングラスをかけているときは、ちょっとおっかなそう……だけどサングラスをはずすとご覧のとおり目元がやさしい大林先生。「いつまでも初めて運転した時の気持ちを忘れずに。」

● ライセンスローン開設！

公安委員会指定・技能試験免除

神戸自動車学院

☎581-1207(代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号
(神鉄山の街下車)



女子大生集合！〈3〉神戸学院大学

Jardin room



喋る、食べる、笑う、又食べる

神戸学院大学落語学院

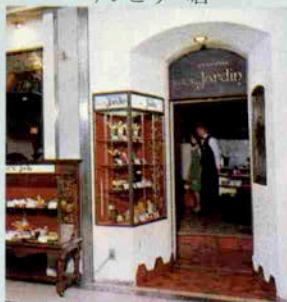
まんまる顔の女の子はがびったりの美女達。30名余りの男子部員の中で紅4点シャンゼリゼ風の洒落たガラス張りのお店で古典落語の話。さすが現代っ子！6月25日の「元町迷人会」のため只今猛練習中。写真左から櫻橋由江さん（春の家若菜）、岡本久美子さん（春の家まだか）、田中慶子さん（春の家つくし）、瀬戸千賀子さん（春の家あかね）
(サンこうべ店にて)



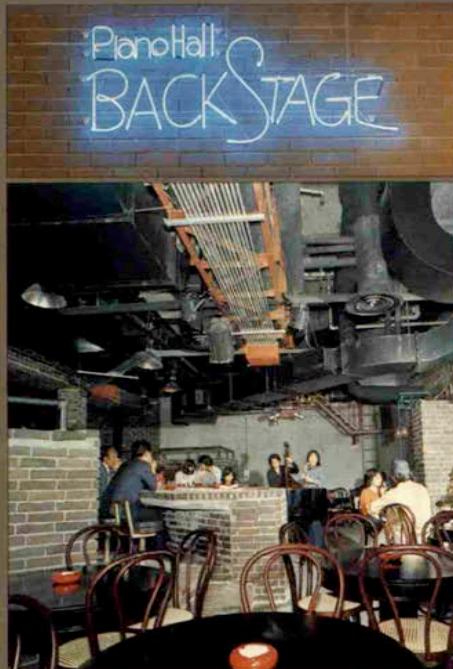
ジャルダン

楠 公 前 店 ☎ 351-1149
大 丸 店 ☎ 321-5257
サンこうべ店 ☎ 351-6032
中 山 手 店 ☎ 331-6680

サンこうべ店



● COFFEE TIME AM 11:00 - PM 6:00 ● WHISKY TIME PM 6:00 - AM 0:00



Piano Hall
BACKSTAGE

Tel 078-332-0230

神戸市生田区三宮町1-5

三宮センター街 サン・プラザ10F 「サン・ロイヤル・プラザ」



おかげさまでスナック美和
は6月10日で満3周年を迎
えることになりました。

つきましては6月9、10、11日の3日間、感謝の気持ちとしてささやかながら記念品を用意させていただきたく存じます。

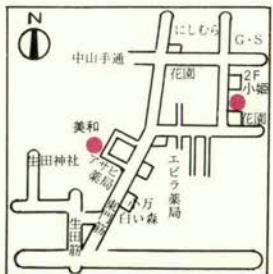
今後ともパレ小姫ともどもよろしくお引き立ていただけますようお願い申しあげます。 梅沢 和子

スナック

MIWA 美和
神戸市生田区下山手通1丁目1
TEL (078) 391-3050
G120M/G150M 販賣

Pale 小姐 Kohime

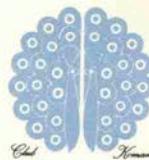
神戸市生田区加納町4丁目
神三ビル2F
TEL (078) 332-1098
6:00PM~1:00AM 日曜祭日休み



にぎわいのなかに温かさがある



▲神戸酒祭りより(1977.4.8)



CLUB

小万

岩本 起代子



神戸市生田区中山手通1丁目114-1(東門筋)中島ビル3F ☎ 391-0638・4386



店三周年を迎えて昭ちゃんも豊くんも、スタッフ一同
張り切りの“サテンドール”にアン・バートンが来店。

JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1 ☎ 242-0100 無休



話上手な美女たちとお酒——今夜のあなたは“ラベコ
スタンタン”的和気あいあいとしたムードのなかで。

SNACK & NIGHT SPOT

ラベコワスタンタン

生田区中山手通1 マリンビル地下 ☎ 332-1019
第一、三日曜休



一人で飲むもよし！みんなで楽しく飲むもよし！ボトルキープであなたも“ティファーナ”的仲間になりませんか
オールド、テキーラ 各6000円
メキシコ料理の店

TIJUANA

生田区中山手通1 ☎ 242-0043 無休



上品で落ち着いた雰囲気の“シャングリラ”での洋酒の
味——貴方の理想郷。姉妹店「グラントリ」もよろしく



SNACK

シャングリラ

生田区中山手通1 マリンビル1F ☎ 391-8941
日祝休

SUMMER PLACE

Bells will be ringing and birds will be singing, if you and your lover
should ever discover that there's a summer place.

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭

箕面区旗塚通7-5 ☎ 331-6300
トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷
生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階 ☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

鍋もの・おむすび
お茶漬・炉ばた
悟味西
生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848
三宮さんちかタウン ☎ 391-5319

たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧鶴屋) ☎ 331-0572

とうふ料理 東府家
生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび
鍋もの ふる里
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かつばう吉 本
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前) ☎ 241-3450

★西洋料理

レストラン アーヴィング
箕面八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 鹿皮 あらかわ
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547・231-3315

ピザ&スパゲティ ガルの店
箕面区夢町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス ヴリル青山
生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858

レストラン クイーンズコート
生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&
ドリンクス 神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F ☎ 321-2955

スカンディナビア料理 ゴックスタッド
と世界の民族音楽の店
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON三門
生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Café et Restaurant アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン スイスシャレー
生田区北野町3-48アニルドマンショントン ☎ 221-4343

レストラン セントジヨージ
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 テイフアナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールコーコラスビル1F ☎ 242-0043

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-0315

ピザ・パブ ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ビストロドゥリヨン
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッツアハウス ピノツキオ
生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイトラン レストラン 火の鳥
生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ボリネシア料理 海賊焼 フィッシュヤーマンズポート
神戸港第4突堤ボートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フックク東店
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
生田区中山手通1-27 ☎ 331-2509

レストラン フランス料理 元町フルーツホール
元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス れんが亭
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 ロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ ☎ 391-5431

レストラン フック神戸店
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 凱旋門
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 321-3378

ブルクロード料理
スパイスクitchen
生田区中山手通1丁目19 クラシカルビル1F ☎ 241-7017

ボロニア風 生バスターの店 カブリオ
神戸三宮さんプラザB1F ☎ 391-5206

サバー&れすとらん 島津
生田区栄町通2-14 加地ビル3F
阪神元町駅西口南 ☎ 391-5700

★喫茶 ティー&スナック
エーポック
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店・生田区中山手通1-70
221-1872・231-9524

センター街店・生田区三宮町2-35
391-0669
北野店・山本通2-9 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

コーヒースポット メディタレーニアン
生田区北長狭通3(トアロード)アーバンビルB1
331-2050

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F
241-3961

ファッショナブル
ゾーン キングスコート
ティーラウンジ ペントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内
242-7090

珈琲
飛鳥
生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

club
c l u b 小万
生田区東門筋中島ビル3F
391-0638・4386

club
c l u b さち
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

クラブ
c l u b 千
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

club
c l u b なぎさ
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

クラブ
c l u b ぶ一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
331-8593

club
c l u b Moonlight
BAR ☎ 331-0886・391-2696
Club ☎ 331-0157

クラブるふらん
生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK
PUB & RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロシ アルバトロス
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINK IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

CAFE WHISKY 音楽の家、ETエトワTOI
生田区三宮町3 三宮センター街西入口
スカイトーピル3F ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道
391-3300

S N A C K L G M
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1
321-3070

ナイトイン おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック 蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンドかてな
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
331-1316

本店洋酒の店 キヤンティ
生田区北長狭通2-3
391-3060・391-3010

北店スープとパンの店 生田区下山手通3-8-9
331-3661

スタンドグラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

スタンドくる実
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロント神戸時代
生田区中山手通1-28
モンシャトウカトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック 聚利
生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック 山莊
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2丁アーヴ
391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック レオパルド
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK スネカリッズ
生田区下山手通2 永晃ビルB1
391-8708

Wine and something 珍地理屋
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞でつさん
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

スナック ピジーピー
生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティー バランタイン
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F
321-5677

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1
331-3575

S T A N D M A S H U C E N A D A
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
331-5587

サロンバレ小姫
生田区加納町4丁目神三ビル2F
332-1098

スナック 興志務樂亭
生田区山本通2-60パールライフB1
242-1977

ティー&カクテルラウンジ ルカカルトン
生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

ウエスタンバブ 神戸ホンキートンク
生田区加納町2-30 ☎ 241-2161

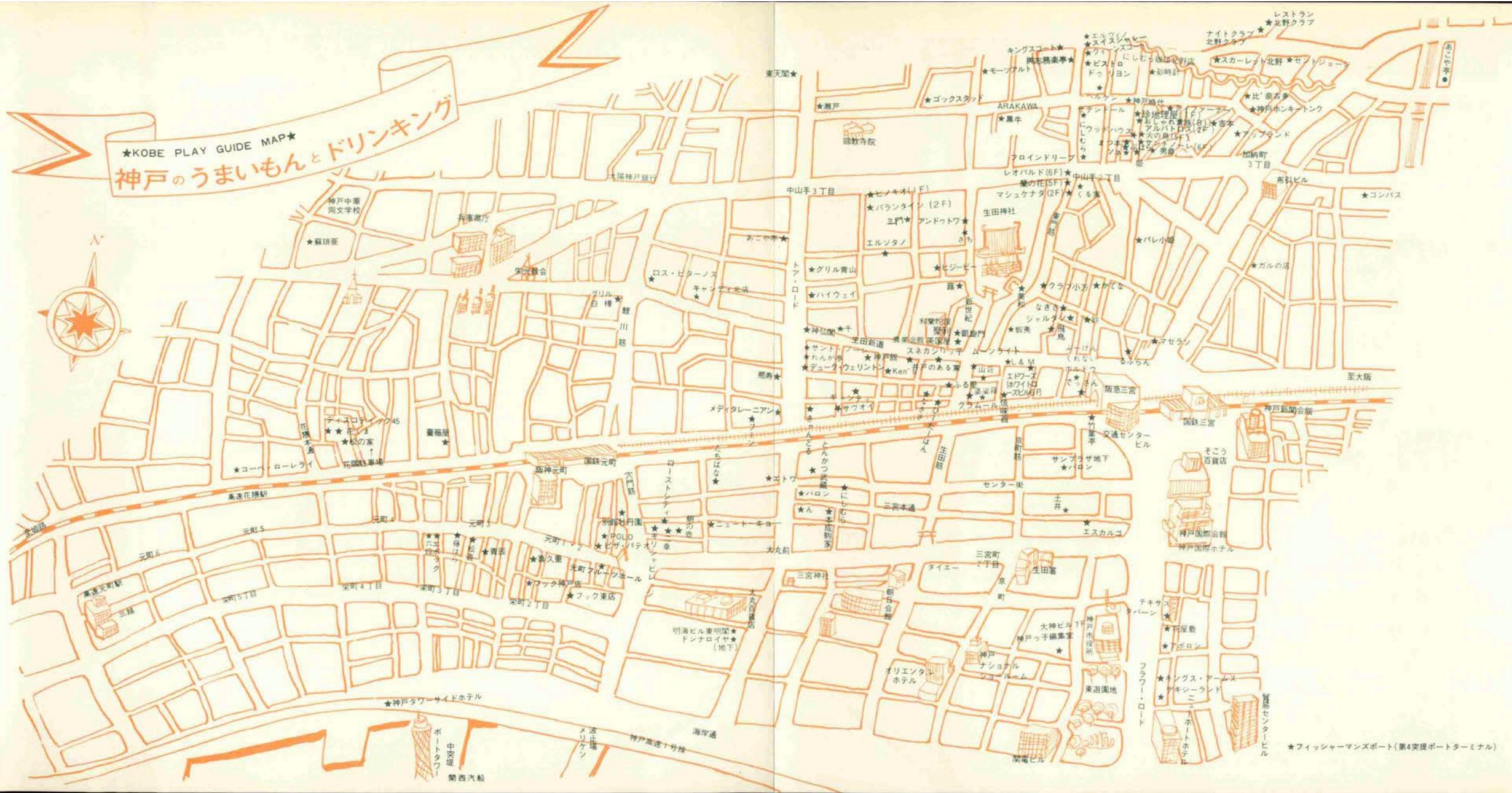
バー サンデリカ
生田区中山手通1-90 ☎ 392-1434-6

ラウンジレストラン コンパス
箕面区二宮町3-12 大西ビル2F ☎ 242-1236

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

★KOBE PLAY GUIDE MAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもんとドリンク



NIGHT IN KOBE

夏もまちか。神戸で出会う白の輝き。



“輝光”がイメージチェンジ。ほのかな木の香りと光のラインの輝き——シンプルでシックなインテリアで誕生
昼間は喫茶としての営業もしています

輝光
KIKO

生田区中山手通2 ☎ 321-0860 日祝休



スインギーにジャズが流れ楽しい語らいのある“レオパード”の気軽な雰囲気の中で初夏のお酒を……どうぞ。



LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F

☎ 391-0992・2125 第3日曜休



愉快に飲んで語って唄って……乾杯！ 初夏の夜は思い思ひの気分で楽しめる“ア羅仁”があなたにピッタリ。

スナック

阿羅仁 あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865 無休



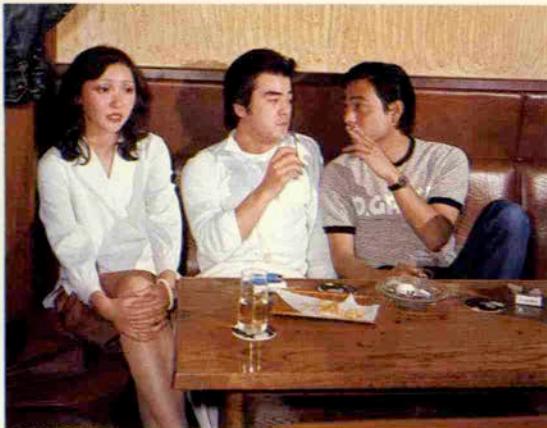
初夏の宵のひとときはあなたのホームバー“ジュテーム”的落ちついたムードのなかで飲んで語って唄う楽しさを

Je t'aime

ジュテーム

生田区中山手通2 東洋ビル2F

☎ 391-3746 日祝休



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32
WOODHOUSE 山内ビル

☎241-7320・7983

KOBE DRINKING GUIDE



PUB &
RESTAURANT

**U
LANDS**

生田区加納町3丁目

1-34

☎241-8271

☆いつもの店のいつもの顔——。恋しかった神戸まつりも終り、町はスッカリ夏らしくなりました。道行く女性の姿も、復活したミニスカートも軽やかに、神戸の町のステキなアーケード。若い仲間のいつも集まる「ウッドハウス」では今夜も気心の知れたいつもの顔が揃いました。チャーリーのソウルフルな歌声に耳を傾けて、ただ今、この夏のプランをアレコレと練っているところ。あそこへ行こう、いや、こっちの方がいい、とんでもない、オレは断然あそだ……。仲々まとまらず、ついつい時間が経って、結局、明日、もう一度「ウッドハウス」に集って決めようと、それが今夜の結論。それではめでたく乾杯と行きましょう。

☆ビール(小)￥400 水割(OLD)￥500 おつまみ￥200 スパゲティ・ピラフ各￥500 キーパG&G￥6,000 レギュラースコッチ￥7,000

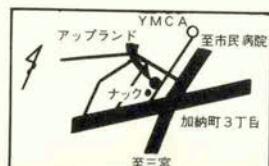
平日5:00PM~4:30AM 日曜5:00PM~0:00AM 第1・第3月曜休み



☆気心が知れた仲間が今夜も集まる「アップランド」。そこへ行くと何か面白いことのありそうな、誰か面白そうなヤツに会えるような……何となく気にかかり、ついつい足を向けたくなるナイトスポット。飲むもよし、食べるもよし、ひとりでももの思いにふけるのも、仲間と暇やかにやるもの、それぞれが思い思いの楽しみ方のできる若者のたまり場。もちろん、若いハートのある人なら年に関係なく楽しく遊べます。気楽で陽気な本場イギリスのパブの魅力を知りたければ、まず、ここ「アップランド」へ来てみてください。元ウェールズのラグビーの選手だったマスターのトニーが今夜も色々と楽しい話をしてくれますよ。

☆ポークソーセージ￥900 シェバーズパイ￥1,000 ステーキ&キドニーパイ￥1,000 フィッシュ&チップス￥750 コーニッシュバースティ￥800 ブロス(ウェールズ風シチュー)￥800 ヘレスステーキ￥2,800 J&B、G&G、OLD各￥500 ビール￥400 フィズ￥500

5:00PM~3:00AM 日曜6:00PM~3:00AM 無休



●北野町の坂道のほとりにある小さなサロン神戸時代。このサロンから新しい時代の波を●



■神戸時代へのメッセージ
このところ外国ぐらしの多かった身にとって、神戸らしさのただよう「神戸時代」でいつでも呑める神戸っ子が羨ましい。

絵の展示も小品ながら現代作家達へも開放され、新しい神戸の息吹きを感じられるのは喜ばしいことです。

有方敏郎

(洋画家・経営コンサルタント)

「神戸の中の情景」展
オープニングに集った
画伯たち(上)、アメリカ
帰りの有方敏郎さん
を囲んでオープニング
の集いと今宵も語らい
の輪が広がる。



上西良一小品展

6月1日(水)→15日(水)

フランス、ギリシャの風景
を油彩とパステルで描いた
作品を展覧させていただきます。
ご期待ください。



中村百合子小品展

6月16日(木)→30日(木)

パリ滞在中に描いたフラン
スの人生模様の数々、カフ
エに、クラブにモンマルト
ルに…そんな人々の生活と
内面を独自のタッチで描く
作品群です。

SALON & GALLERY

神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
モンシャトーコトブキビル1F
TEL 078-242-3567

Alphabet Avenueの C chair 椅子

文 新井 満 コラージュ 石阪春生

スペイン内乱の最中に書かれた“椅子”という詩を紹介したいと思います。

坐っている間に 時は流れてしまつた

パイプの煙と 教会の鐘

何冊かの詩集と 古いギター

僕はいつも 見ていた

妻の微笑と 丘を駆けて行く

花のような娘たちを……

坐っている間に 時は流れてしまつた

砲弾の煙と 瓦礫の教会

焼かれた詩集と 地下壕の沈黙

僕は今 見ている

妻の白髪と 丘の上に並んでいる

娘たちの十字架を……

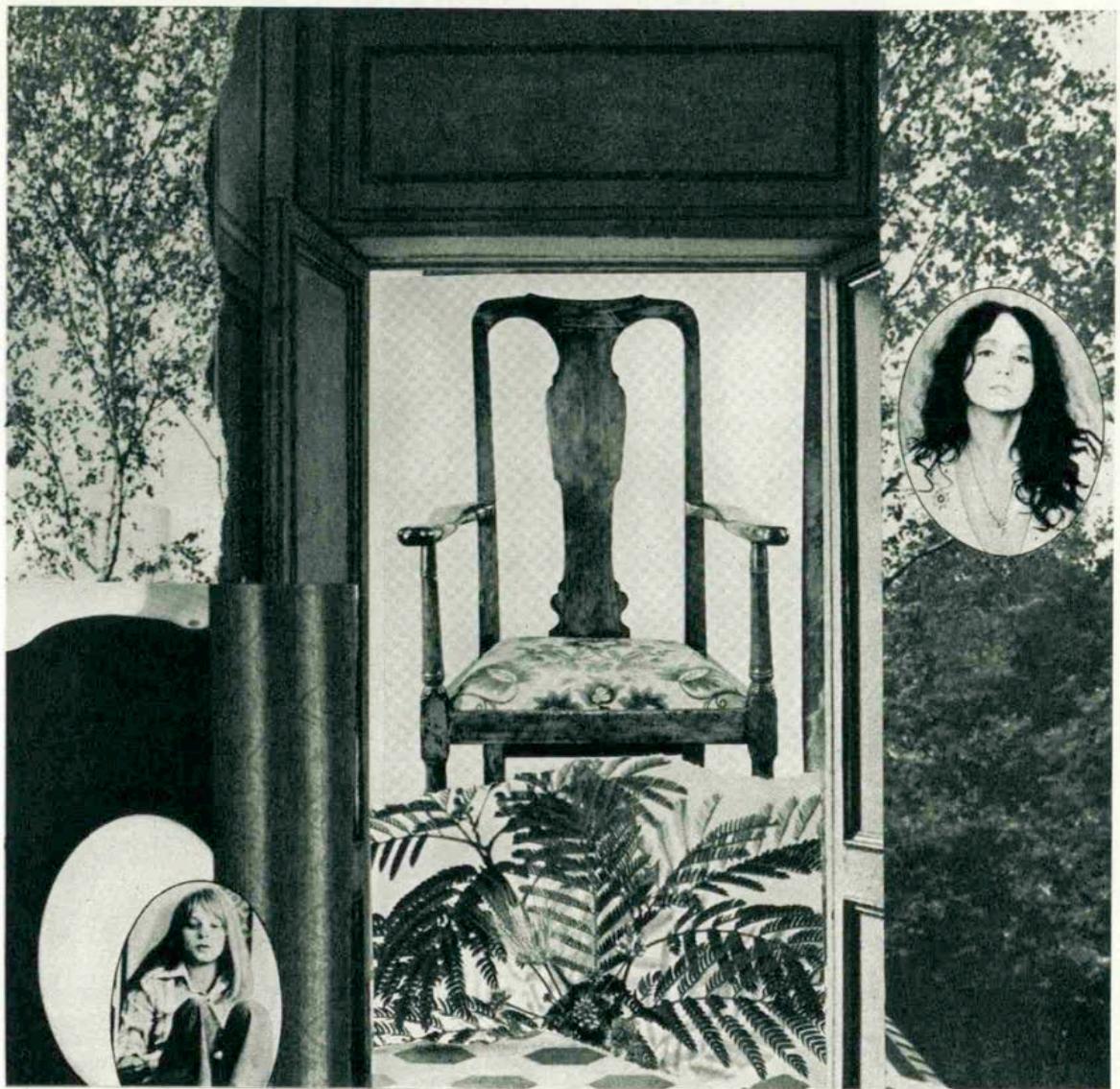
(J・アリカンテ)

椅子には、権力の好きな椅子と、休息がよく似合う椅子の二種類があるんだそうです。ところが、権力椅子は、休息椅子の存在を仲々認めようしないものだから、時々大喧嘩をするんだそうです。そうして、休息椅子の好きな人間が、しばしば、本当の休息を獲得するために、休息椅子での休息を放棄して、立ち上がって歩き出すという逆説を繰り返して来たわけですが、これを、私たち人間の戦争の歴史と言い換えてもよいかもしません。

さて、立ち上がるべき時に、立ち上がったために、永久に主人不在となってしまった一つの椅子は、はたしてどう思うでしょう。脚をふるわせて悲しむでしょうか。あるいは背もたれを張って誇りに思うでしょうか。それとも馬鹿な奴め……と腕を組んで舌打ちするでしょうか。椅子に聞いてみないとわかりません。

J・アリカンテ

(一八二五年バルセロナ生まれ、詩人、一八五九年三月人民戦線側兵士としてマドリード陥落の際に戦死)





ようこそKOBEへFAIRSTAR号！



海船港

神戸港の春は次々と入港する外国航路の豪華客船によつて一層華やかさを増し、街でみかける外人観光客の姿は桜の花もすでに散つた四月二十日、リベリア船籍の豪華客船「フェアスターノ」(二、六九〇トン、フェデリコ・カミア船長ら四百七十六人乗り組み)が真白な船体をポートターミナルに現わした。神戸港へは昨年の十月につづき二度目の入港で乗客九百人のほとんどはオーストラリア人。三月二十三日にシドニーを出発し、東南アジアを巡つて日本を訪れ、長崎、鹿児島を回つた後別府から瀬戸内海の小島の間をぬつて神戸に入港、二十二日横浜に向けて出港し、グアム、ラバウルを経て五月八日にシドニーに帰港する。

さつそく乗船して船内を見て回ると船尾のブールの側で数人の浅黒く日焼けした船員がハゲ落ちたベンキの塗りかえ作業をしていた。彼らはポルトガル人でほとんど英語はわからない。カタコトで言葉をやりとりするとの船にはポルトガル人の船員が一六〇人も乗っているということだ。

この船の台所を見せてもらおうと思つてファーストクラスの食堂から調理場へ入つて行った。すると十人ぐらいいの陽気なイタリア人のコックさんたちが夕食の準備をしており、ちょうどパンやチキンを焼いているところだつた。「ひとつ食べてみないか?」といわれてチキンを口に入れると油こくつてと



9年ぶりの神戸っ子のインタビューに感激したトニーさん(左端)

モダンなロビーでくつろぐ船客たち

てもおいしい。みんなの写真をとりたいというと、仕事をほつたらかしてパンツ一枚で飛んできた愉快なおじさんもいた。調理場にはイタリア人のコックだけで四〇人近くもあり、ほとんどがナポリやポンペイ近くの南部イタリア出身者だ。コック長のウンベルトさんは眞面目そうな人だが英語が話せないのでマリオさん(40歳)という人を介して話をした。以前ナポリへ旅行で行つたことがあるというと大変喜び、ソフィア・ローレンの映画はよくみるよ」というと目を輝やかし、「ジーナ・ロロブリジータは知つてゐるかい?」と聞かれて「もちろん知つてゐるよ、イタリアには美人が多いネ」というと、ソーダ、ソーダ」と意気投合し大きな手でギュード握手されたのでこちらのか細い手はぎりつぶされてヒリヒリしとおしだつた。

さて、キャビンを見たいと頼むとアントニオ君(35歳)と、インシニート君(24歳)が案内をしてくれた。アントニオ君はポルトガル人で十七年間船のつており、この船では二等船室を担当、インシニート君はイタリア人でまだ三年目で一等船室を担当している。ちなみにファーストクラスの船賃は四十六日間の航海で約一七三万円、エコノミクラスは一二七万円なので一日三~四万円になる。やはり乗客の大半はお金と暇のある老人夫婦ということになる。

この船の乗組員はポルトガル人一六〇

人、イタリア人一五〇人、インドネシア人三八人、オーストラリア人二五人、中国人十人、イギリス人十人、その他イスラム人、オーストリア人……というように多種多様であり、船長はイタリア人である。あたかも国際連合のような船だ。インシニート君の給料は月給約二〇万円、アントニオ君が十六万円。インシニート君は独身で、アントニオ君はリスボンに家族がおり仕送りを続けていた。神戸では八歳の娘のために日本人形を買ったと嬉しいことに話してくれた。

さて、船客に取材をしようと思つてラウンジでくつろいでいる老人に話しかけると、その老人はやおら月刊神戸っ子の雑誌をみて「一九六八年頃にオーカディオ号といふ船で神戸にきた時、この雑誌の女性レポーターからインタビューを受けたことがあるよ」と意外な告白をされた。このトニー・ロトンド（58歳）という老人は日本へきたのはこれで三度めで、二度めは一九七三年に

（スチュワードのインシニート君（左）と
アントニオ君（右））

さあパンが焼けたよ。
一つ食べてみると?

チキンを料理するウルベルトさん（右）たち

ニューホランド号という客船でやつてきた。オーストラリアのサーフエイイス・パラダイスという観光地に住んでいるが子どもがないので気楽に夫婦で海外旅行を楽しんでいる。月刊神戸っ子の二度目の取材に偶然遭遇したというでラウンジで私にコーヒーを、同行のカメラマンにはビールをごちそうしていただいた。トニーさんはイタリアで生まれ、赤ん坊の時に家族といっしょにオーストラリアへやってきた。父親は砂糖きびの栽培をしていてトニーさんも砂糖にはくわしく、日本へ輸出をしていたことや日本での栽培の様子などを話したり、質問したりして興味を示す。「オーストラリアへ来た時はぜひ立寄つてくれ。そして今とつてくれた写真を送つてしまい」といなながら船をおりて、ポートターミナルの出口までわざわざ見送つてくれた。いつかトニーさんに二度めの取材ができるのを期待しながらフエアスター号を後にした。

（橋本 明）





Chianti

キャンティコーナー

ファミリーな雰囲気で
みんなが友達になつて飲める店

松井 北浦

佐一郎さん
典さん
(北浦建設株式会社)

松井「どんな時に来ても楽しめるし、家族的
でみんなが友達になつて楽しめる。これはマ
スターの人柄の現われでしようね」
北浦「のめなくてものみたくなる店。帰宅の
時間が遅くなりそう……と、義理の弟にあ
たる松井さんと水割りで乾杯する初夏の夜。」

本店/洋酒の店 ☎ 391-3060
神戸市生田区北長狭通213(日祝休)

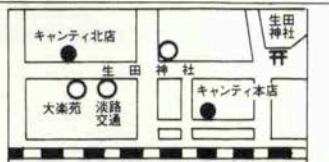
北店/スープとパンとドリンク

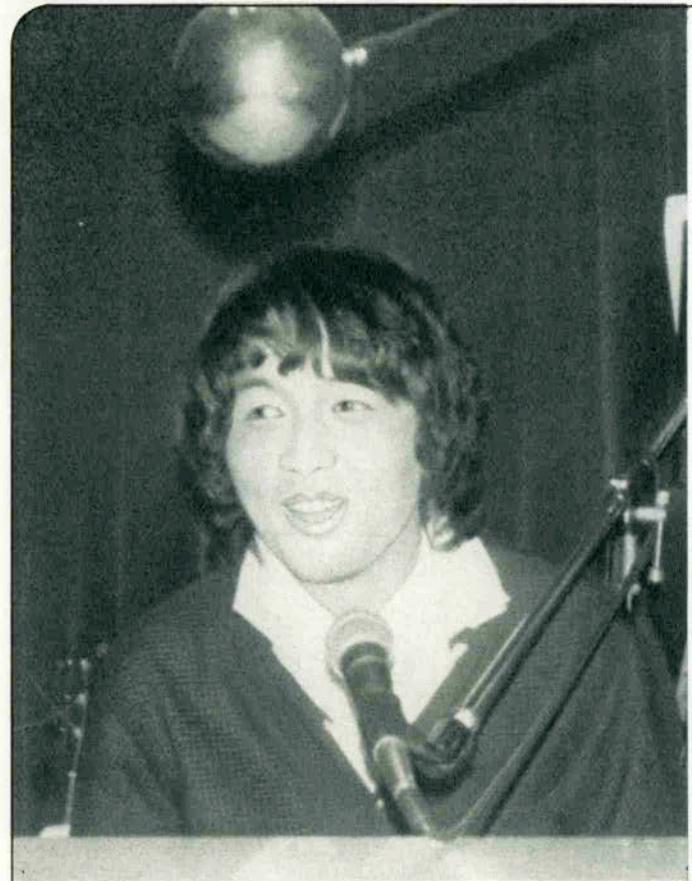
神戸市生田区下山手通3丁目8-9(年中無休)
ティータイム AM11:00~PM6:00 ☎ 331-2122
ドリンクタイム PM6:00~AM1:00 ☎ 331-3661

小田イタルハモンド演奏
毎夜8:00より



小集会・パーティはご予算
に合わせてご利用下さい。
ティーパーティ ¥ 600より
ディナーパーティ ¥ 2500より
(50名様まで)





サントノーレの
ふれあい

中村 雅俊さん

〈俳優〉

NHK-TV『花神』で活躍中の中村雅俊さんが、神戸国際会館でのリサイタルがハネてからのプライベートタイムにお立ち寄り下さいました。レモンのようにさわやかな雅俊さんは、ピアノやギターで弾き語りを披露。とっても楽しいひとときでした。——中谷衣里



● ミュージック・スポット

KOBE魅惑のライブ

サント*ノーレ

■トアロード店/神戸・生田区中山手2 ☎078(391)3822 A.M11:00~A.M12:00 ミュージックタイム P.M7:30~11:00
■北野店/神戸・生田区中山手1大和ナイトプラザ6F ☎078(221)3886 P.M6:00~ミュージックタイム P.M7:30~11:30



4ch Sound & Scotch

あんざい
Anzai

本格的な4chステレオコンポのレコード伴奏で気持ちよく歌える。飲んで歌って楽しく遊べる店。ロバートブラウン・バスピート水割各 600 キリンビール(小) 600 6:00PM~1:00AM 第1・3日曜休み

生田区下山手通2-11
サンビルB₁
☎ 331-0428



ニュー

的 ニュー マト

生田区北長狭通1-22
上高地山側東へ入る
☎ 321-3270

陽気で話の面白いママがいつも店を賑わせていて、心配事も消えてしまうほど暖かい雰囲気がいっぱい。ロバートブラウン・キープ 6,000 水割 600・キリンビール(小) 500 5:30PM~1:00AM 日曜休み

NIGHT IN JUNE



スナック

熊

兵庫区大開通7丁目
兵庫温泉前
☎ 576-3548

ギター演奏をバックに自慢のどを披露できる。良心的な値段で安心して飲める家庭的で明るい店。ロバートブラウン・キープ 4,800・水割 500・キリンビール(中) 500 5:30PM~0:00AM 第3日曜休み



スナック・喫茶

アベント

東灘区深江北町3-10
阪神深江駅山側
☎ 451-0765

夜7時からスナックタイム。大学生をはじめ若い人が多く、活気があり、ママはみんなの良き相談相手でもある。ロバートブラウン・キープ 4,000・水割 400・キリンビール(中) 400 8:00AM~0:00AM

噴水公園の白い飛沫が涼しげな初夏。やがてたそがれる神戸の町角……とり残された陽だまりがボツンとひとつ
わんがの館の豊かな晚餐が恋しくなるひとときだ



ステーキハウス
鉄板 和紙焼(R)

わんが亭[®]

生田区下山手通2丁目31(トアロード)
TEL 331・7168 年中無休

神戸百店会

① 宝 飾	Jewel · Pearls ミキモト キモト Mikimoto Pearls	国際会館 1階 (221) 0 0 6 2 International House
② 宝 飾	田崎真珠店 Tasaki Pearls	元町通二丁目 (331) 5 7 6 1 2-motomachi
④ 宝 飾	タジ Jewel Tajima	元町通三丁目 (331) 1 7 9 8 3 motomachi
⑤ 時計と宝石	美田時計店 Mita Watch Shop	トアロード (331) 2 2 3 9 7 Tor Road
⑥ 宝 飾	神戸ダイヤモンド Kobe Diamond	ド
*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop		
⑦ 紳士服	柴田音吉洋服店 Tailor Sibata	元町通四丁目 (341) 0 6 9 3 4-motomachi
⑧ ネクタイ	元町バザー Motomachi Bazaar	元町通一丁目 (331) 1 4 7 0 1-motomachi
⑨ 紳士服	三恵洋服店 Tailor Mituei	元町通四丁目 (341) 7 2 9 0 4-motomachi
⑩ 男子洋品	フナキヤ Funakiya	元町通三丁目 (321) 0 3 5 6 3-motomachi
⑪ 紳士服	十字屋洋服店 Tailor Jujiya	元町通五丁目 (341) 0 2 1 9 5-motomachi
⑫ 洋品雑貨	サノヘ Sanohe	元町通二丁目 (331) 4 7 0 7 2 motomachi
⑬ ワイシャツ	神戸シャツ Kobe Shirt	大丸前 (331) 2 1 5 8 In front of Daimaru
⑭ 紳士服	洋服の森渡 Watanabe	國際会館 (251) 8 5 0 1 4-isogani-dori
⑮ 紳士服	ニッケショールーム Nikkeshi Showroom	元町通三丁目 (391) 6 1 9 5 3-motomachi
⑯ 紳士服飾	ウ Men's Shop Une	元町通一丁目 (331) 3 1 1 2 1-motomachi
⑰ 紳士シャツ	大和屋シャツ Yamatoya Shirt	センターハウス (331) 6 9 5 6 国際会館(251) 2220
⑲ メンズウェア Men's Wear	マーキュリー MERCURY	大丸前山側角 (331) 7 8 5 7 In front of Daimaru
西川 トアロード		
*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop		
⑳ 帽子	マキシム Maxim	トアロード (331) 6 7 1 1 Tor Road
㉑ 服飾雑貨	エスター・ニュートン Esther Newton	トアロード (331) 1 8 1 8 Tor Road
㉒ 洋品	スギヤ Sugiya	トアロード (331) 3 4 3 6 Tor Road
㉓ ハンドバック	Shirasa Shirasa	元町通二丁目 (321) 0 8 0 1 2 2-motomachi
㉔ ベビー用品 子供服	ファミリアー Familiar	元町1丁目 (391) 5555 トアロードセンターハウス
㉕ 婦人服地	シン	センターハウス (331) 3098 さんかく (321) 5254

洋 傘	オ 才	カ 力	ダ 元町通三丁目
ショール	Okada	ス	3-motomachi
洋 装	マ	ス	センターハー街、元町三丁目
婦人服飾	Masuya	ニ	(321) 5 9 9 1
婦人・紳士 服 飾	ベ	二	3-motomachi
毛 皮	Beniya		本店 (321) 2135-6
高級婦人服地	セ リ ザ		さんちか店 (321) 2676
お仕立て	Serizawa		
婦人服飾	ベニイ 毛皮	皮	センターハー街、大丸前 (391) 4 6 2 4
高級婦人服地	Bennie Furrier(Furs)		センター街、大丸前
お仕立て	KOMATUYA	ツ	(321) 3 3 2 7
婦人服飾	三		Kobe International Hotel
オートクル チューブル	San-ai		センター街、さんづラザ (331) 1833- (331) 0607
*装身具	装		
チューブル	Soop		
・服飾品 Accessory · Dress			
ベッ甲	太田ベツ	甲	元町通一丁目
ハンドバック	Ota Co. (Tortoise-shell ware)	1-motomachi	(331) 6 1 9 5
アクセサリー	イクシマ	ヤ	元町通一丁目
アクセサリー	Ikushimaya	1-motomachi	(331) 2 4 1 5
アクセサリー	芸	夢	トアロード
高級船用雜貨	Gēimu	ス	(331) 5 3 9 3
婦人・紳士靴	Cross Shoes	ス	トアロード
高級船用雜貨	ヨシオカ	カ	(391) 1 7 8 1 (代)
婦人・紳士靴	Yoshioka Shoes	力	トアロード
*和装 Kimono. Geta			(331) 5 1 9 0
和 服	ちんがら	屋	In front of Daimaru
和 服	Chingaraya		
和 衣	みよし	や	さんちか ミセードタウン
和 衣	Miyosiya		(332) 1 7 0 0
和 衣	中川衣裳	や	大丸三階
和 衣	Nakagawa	店	In front of Daimaro
和 衣	つるや衣裳	店	センター街
*美容 Beauty Shop	Turuya	店	(331) 7524-5333
美 容			センター街
美 容	ブルーあきら	ら	(321) 0 3 6 0
美 容	ローズあきら	ら	In front of Daimaru
美 容	美容室エリザベス		
	Elizabeth Beauty Shop		
*美術・工芸品 Art			
美 術	元町画廊・若木屋	元町通一丁目	
画材・額縁	Motomachi Gallery	3-motomachi	(331) 2 3 5 9
画材・額縁	末積製	トアロード	
画材・額縁	Suzumi	1-motomachi	(331) 1 3 0 9
工芸	磯川工芸	トアロード	トアロード
アクセサリー	Isokawa	1-motomachi	(331) 3 3 9 8
美術陶磁器	淡洲	センター街	
新古美術	Tanshudo	堂	(331) 1 7 7 0
新古美術	播	新	センター街
新古美術	Harishin	術	
美 藝 品	元町美商	会	
記念品・贈答品	平山		

和洋料理	Eating House
日本料理	竹葉 Chikuyotei
天婦羅	可 okaGawa
司	本成駒 Hon-Narikomaya
とんかつ	武力ルメ Musasi
スペイン料理	カルメン Carmen
欧風料理	ハナワグリル Hanawa Grill
ビヤ・ホール	ニュー・トーキョー New Tokyo
毎川魚料理	時雨茶 Shigure Jaya
料	蛸の Takonotsubo
理	北野クラ The Kitano Club
レストラン	ブランドウ ブラン Blanc de Blanc
ふぐ・天ぷら・寿司	栄 Sakaeya
司	又 Matahei
神戸肉	大井肉 Ooi Beef Shop
クラブ・料亭	Night Club
斗亭	松の家 Matsu no ya
ナイトクラブ	北野クラ The Kitano Club
クラブ	ディスコティック 45
ホテル	Hotel
ホテル	神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel
ホテル	六甲オリエンタルホテル Rokko Oriental Hotel
観光旅館	有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku
ホテル	ニューポートホテル NEW PORT HOTEL
*商社	Trading House
ビル	朝日麦酒 K K Asahi Beer
電化製品	ナショナルショウルーム
銀行	太陽神戸銀行 THE TAIYO KOBE BANK, LTD.
珈琲・紅茶直輸入	UCC上島珈琲本社



永い間みなさまの憩いの場としてご愛顧をいただきしておりますが、5月10日、表いを新たにオープンいたしました。

オープニングパーティーには大勢の方のご来店をいただき、盛況のうちに新しい門出を祝うことができました。

今後ともお引き立て下さいますようによろしくお願ひ申しあげます。

浦野 久子



クラブ
CR ふらん

神戸市生田区中山手通1丁目111-11

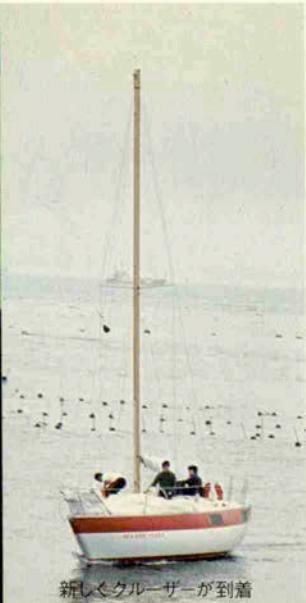
TEL (078) 331-2854

まっ白なバルコニーのむこうは 広い海と青い空

6月12日(日)に三周年記念パーティ〈ヨットレース・釣り大会・ダンスパーティetc〉を開催します



シーサイドゴルフコンペより



新しくクルーザーが到着



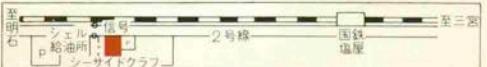
ヨットやモーターボートでもおこし頂ける
南仏風レストラン

SEA SIDE CLUB
PALACE
SHIOYA

神戸市垂水区塩屋町字高尾179の6 シーサイドパレス塩屋内
(国鉄塩屋駅西400メートル) TEL 753-1373(駐車場完備)
☆営業時間 11:00AM~11:00PM 年中無休

日本で初めて輸入 スイス「エグロ」
コーヒーメイクマシンで美味なコーヒーを
☆メニュー 個立良のグラタン 1400円
自家製テリーヌ800円 オニオングラタン
スープ700円 スズキのグリル1600円 仔
牛のロースト1700円

★色々な特典が多い会員を募集中です。
入会金 個人 20,000円
法人 50,000円





ST. GEORGE CLASSIC GOLF

CHAMPIONSHIP 4TH

第4回セントジョージクラシック選手権エントリーメンバー表

本沢 健治	安田 実和	一男	安永 健司	石井 一二	荒谷 登	岩本 久善	松本 格治	守山 正義	西川 富三	北村 元雄	高江州雅夫
田中 實	小川 勉	柳生喜一郎	川西 孝房	西田 和男	佐野 清志	小池 敏之	安東一夫	柿本 雅司	宮内 廉靜	米沢秀実	神田 茂
荒木 英二	堂の口 学	渡辺 盛夫	近藤 升	野田 晴志	正	徳原 道夫	安広弘志	武志 武志	敬介	長山和夫	森栄菜
森脇 繁男	東 宗則	本田 光男	川中 諭尊	三幣 昇	森川 勇	森川 勇	弘志	井出 正一	二之宮正博	安部義治	中島足立
松本 昌幸	井上 騰	千草 大幸	福村 德	烟上 智	信光	森川 勇	弘志	西田 昌幸	橋本 真治	大岩昌昭	森勇
橋本 潤	戸谷 健	五十井 孝安	木田 善男	古原 征行	伍郎	森川 勇	信治	渡辺 荘	橋本 貞夫	中村豊	昌紀
小沢 進一	茂山 秀雄	末松 正寛	木田 永井	敏勝	大幸	今村 征行	今村 武敏	西田 俊朗	中村	豊	古屋都子
前田 民雄	上荷 勉	大柄 定三	南木 秀夫	古東 孝俊	幸光	板倉 光明	板倉 光明	荒瀬 貞夫	仲野嘉一郎	野網とし子	
岡田 精作	萩岡 賢二	北山 新三	平山 貞市	湯川 伸治	弘	浜田 近藤	新美 健治	朝日 勝	守	勝	愛齡
栗山 和三	堺美 韶和	川崎 嶽	安井 和夫	岩本 玉子	功	浜田 二郎	健治	中島	守	揚	
下津 幸雄	羽田 一雄	山本 恵三	西山 玉枝	玉子	綱子	北野 友市	朝日	石井 知子	文山 武		
柳瀬 俊夫	龜山 清南	里見 伸男	長谷川 畏	安田 高橋	義次	近藤 矢切	宏幸 宏幸	吉川洋次郎	吉川洋次郎	於 六甲国際	
		佐藤 嶽	坂本 利明	木村 司敏	誠	二郎	和一	西田 信幸	和田 一生	ゴルフ俱楽部	
				木戸 健二	木戸	矢切	亮洋	所司原義久	馬場 大典	10/26	

優勝 本沢健治 46.47.40(HD37.5)95.5 準優勝 田中 寛 48.46.44(HD37.5)100.5 3位 荒木英二 44.44.51(HD37.5)101.5 4位 森脇繁男 43.46.44(HD30)103 5位 松本昌幸 42.48.46(HD33)103 L優勝 西山玉枝 46.52.51(HD37.5)111.5 ベストグロス 茂山秀雄 39.41.41(HD13.5)



ST. GEORGE JAPAN
NO.130 KITANO-CHO 1CHOME IKUTA-KU KOBE

小集会、ご披露宴、展示会などの
パーティにご利用下さい。

個人会員 / 入会金 20,000円(会費不要)
特別会員 / 入会金 50,000円(会費不要)
ご入会のお問い合わせ・お申込みは
セントジョージ・ジャパン事務局まで
PHONE 078(242)1234代



5:00PM~0:00AM

5:00PM~11:00PM (日曜祭日)

・駐車場完備・

77大丸のテーマ

まぶしい人になれ



蝶。鳥。海。
自然の美しい
夏です。

もめんの夏。

やわらかなシルエットに美しい
ファンタジックなプリント。真夏は
楊柳・綿ボイルがすてきですね。

* ご紹介の品は
2階ひよしや 森英恵の店。



神戸もとまち
大丸
電話 (078)331-8121
<水曜定休>

昭和四十年一月二十日 発行所 / 神戸市生田区東町1-13の1 大神ビル7F TEL (33) 22446 領価200円
第三種郵便物認可 昭和五二年六月一日発行 每月一回一日発行 ナニワ印刷(株)印刷
編集発行 / 小泉康夫 (送料45円)